広報
はつかいち
No.1178
9
September 2013

特集
「幸（こう）」齢者になろう―
―特集2～7ページ―

宮島踊り
毎年、８月17日・18日の両日、嚴島神社参道途中の御笠の浜で催された宮島踊りの夕べ。編み笠をかぶり面体を隠し、黒紋付きを着用して踊るのが正装だが、現在では服装は自由。足は３歩進み１歩戻る、手は左右交互に上下させて踊る。戦国時代、伊予の国の海賊が、宮島で悪行三昧をした帰りに嵐で船が沈没した。その後、船舶が相次いで災難に見舞われ、海賊の亡霊の仕業とされた。その霊の供養のため、念仏踊りをしたのが起源とされている。平成19年２月、市の無形民俗文化財に指定。

特集

「幸（こう）」齢者になろう―

高齢を「幸齢（こうれい）」と書いてみる。
老人を「朗人（ろうじん）」と読んでみる―。
生き生きと年を重ねている人は、いつも光輝いている。
9月15日は「老人の日」。そしてその週は「老人週間」。
今月は、老人クラブの活動や、その取り組みから、
「幸せ」に年を重ねるということを考えてみよう―。

―特集7ページまで―

問合せ　高齢介護課☎㉚9155

「長寿社会」を幸せに過ごすために

厚生労働省がまとめた平成22年時点の平均寿命が、7月31日に発表された（厚生労働省「平成22年市区町村別生命表」より）。それによると、廿日市市の平均寿命は、男性が80・9歳で、中国5県でトップ。また、女性は、87・5歳で同9位となり、廿日市市は、長寿のまちであることが証明された。

「長寿」という言葉は、人生というステージで生きがいや喜びを見つけ、思う存分生きていくことを意味する。これからの長寿社会を楽しむためには、健康面はもとより、精神面でも充実した生活を送ることが大切になってくる。

また、市内に住む65歳以上の人口（平成25年4月1日現在）は、2万8948人で、全人口11万7680人に対し、24・6%となっている。実に4人に1人が、65歳を超えているといった現状だ。さらに団塊の世代と呼ばれた人たちがその年齢に達することで、長寿社会はこれから加速度を増していく。

楽しく年を重ねよう

地域での活動を通して、まちを盛り上げる人たちがいる。老人クラブの皆さんだ。

市内には、廿日市市老人クラブ連合会（以下市老連）を柱に、各地域に128の単位老人クラブがあり、おおむね60歳以上（地域によって異なる）の会員約7千人で、それぞれの地域ごとに多種多様な活動を行っている。

その活動は、レクリエーションやスポーツ、趣味などの活動や、介護予防の運動などの「生活を豊かにする楽しい活動」と、地域の郷土文化を守る活動や、ボランティア、世代間交流などの「地域を豊かにする社会活動」に大別されるが、それぞれ関わりを持ちながら総合的に取り組んでいる。

その魅力は、活動やスポーツが健康維持・増進に役立ち、介護予防や医療費の削減にもつながるだけでなく、社会活動への参加と貢献ができることなどが挙げられる。

そして何より、それらを通じて、地域に多くの仲間が増え、心の安らぎや充実感が得られるというのが大きなメリットではないだろうか。

老人クラブの活動や取り組みから、趣味や娯楽を楽しむ喜び、地域に必要とされながら暮らす喜びなど、「生きがい」を見つけ、長寿社会で「幸せ」に生きる方法を探ってみよう。

写真右　7月31日にあいプラザで行われた「いきいき健康体操」。廿日市市老人クラブ廿日市支部が、毎月2回開催している。介護予防が主な目的で、ミニボールトレーニングやリズム体操などの軽運動を主に行っている。　写真上　「いきいき健康体操」でのひとコマ。指導にあたるのは、健康運動指導士の加藤千秋さん。「ひざや腰などに痛みのある人も多いので、簡単にできて楽しい運動を心掛けています」と話してくれた。指導中の会話も魅力の一つ。参加者の笑顔は絶えない。

笑顔の連鎖―

一人一人の笑顔が、まちを動かす原動力。
その笑顔は続いていく。
老人クラブで活動する皆さんに、
お話を伺いました―。

市内各地域には、128の単位老人クラブがあり、それぞれ特色を生かしてさまざまな活動を行っている。

毎日を元気に過ごすこと。それは趣味や娯楽を楽しむ喜び、文化やスポーツを楽しむ喜び、家族や地域に必要とされながら暮らす喜びなど、さまざまだが、生きがいがあり、一緒に過ごす仲間の存在は、毎日の生活に輝きを与えてくれる。

「まだ早いから…」、「もう年だから…」とためらわずに、まずは一歩を踏み出してみると、あなたの「これから」を笑顔にする「出会い」が待っているかもしれない。

健康

友愛クラブ
石澤和之さん

峠グラウンドゴルフ愛好会では、「明るく、仲良く、元気よく」をモットーに、毎週月・木・金の13時から権現ハウスグラウンドで練習を行っている。

「参加した人が生きがいを持てるような会を目指しています」と、峠グラウンドゴルフ愛好会会長の磯部勝さん（69）。「個人戦なので、自分のレベルで楽しむことができます」とその魅力を語る。

石澤和之さん（78・写真左）は、「名前や顔を覚えることができるので、自然にあいさつや言葉を交わすことができるようになります」と話す。

青空の下、グラウンドでは、暑さに負けない笑い声が絶え間なく続いていた。

廿日市市老人クラブ連合会　副会長
佐伯支部　支部長
かわまさ・くにお
川政　邦雄さん

「健康第一」が座右の銘ですね。まずは健康であること。これが一番だと考え、介護教室などの教室や、グラウンドゴルフ、ゲートボールなどに力を入れています。スポーツなどの競技はどうしても勝敗がつきますが、仲間を増やし、楽しく行うことを目的としています。クラブに加入してない人の参加も可能な大会もあるので、興味があったら声を掛けてみてください。

景観

春になると、吉和地域の国道沿いに黄色いスイセンが咲き誇り、来訪者を歓迎する。今では、吉和の春の風物詩となっている。

廿日市市老人クラブ連合会
吉和支部　福寿会　会長
まつもと・しげたか
松本　重隆さん

地域の清掃をしたり、花を植えたりといった社会奉仕活動も特徴の一つです。住民有志で始めた国道沿いのスイセンの根付け。その後活動が広がり、今では地域全体に広がっています。春には吉和全域の国道沿いに黄色いスイセンが咲き、地域の誇りにもつながっています。また、今年から「水仙まつり」も始まり、福寿会も応援しました。活動によって地域が盛り上がっていくのを実感しています。

学び

廿日市市老人クラブ連合会　副会長
大野支部　万年青会連合会　会長
もりわき・ひでゆき
森脇　偉之さん

大野では、老人クラブのことを「万年青会」といいます。「万年青」とは、常緑で枯れることの知らない多年草のこと。その植物にちなみ、「いつまでも若々しく健康な毎日でいられるように」と付けられています。各地域で、それぞれ密着した取り組みを行っていますが、現在、力を入れているのが、「いきいきクラブ体操」です。寝たきりゼロを合言葉に、普及に努めています。

写真上　万年青会では、年６回、「おもと大学」を開催。防犯や福祉の講演、演芸鑑賞など幅広い学習の場を提供している。写真は、７月20日に行われた「おもと大学」の様子。 写真下　日常生活の体力維持のために構成された「いきいきクラブ体操」。「おもと大学」の公演前に披露された。万年青会では、リーダーを中心に介護予防体操の普及に努めている。

交流

みやま会
木村繁子さん

老人クラブでは、地域ごとの交流も盛んだ。7月19日、吉和支部福寿会と宮島支部みやま会の交流カローリング教室が吉和福祉センターで行われた。

会の規模が近いと、合併前の平成元年に姉妹提携を結んでいる福寿会とみやま会では、これまでもさまざまな交流を行ってきた。冬に雪の厳しい吉和地域では、冬季のスポーツとしてカローリングが盛んで、福寿会がコーチ役として参加。3回目の開催となった今回は、合計44人が参加し、カローリングを通じて交流を図った。

みやま会の木村繁子さん（80）は、「立ったり座ったりがとてもいい運動になります。何より、吉和地域の人と交流ができて楽しいです」と、笑顔で話す。

福寿会
西村秀生さん

カローリングを10年以上続けているという福寿会の西村秀生さん（77）は、「宮島と吉和で遠く離れていますが、こうして一緒にできることに喜びを感じています」と笑顔を浮かべる。

ゲームが進むにつれ、「止まれ！」「もうちょっと！」などの掛け声もあちこちから飛び交い、充実した時間を過ごした皆さん。最後に、「これからも両地域の親睦を深めていきましょう」と、福寿会の松本会長と、みやま会の児玉会長は固い握手を結んだ。

終始笑い声の絶えなかった交流カローリング教室。ジェットローラーと呼ばれるカラーストーンは、思ったように進まず、バランス感覚が必要。

廿日市市老人クラブ連合会
宮島支部　みやま会　会長
こだま・よしはる
児玉　芳旻さん

人は誰でも年を取り、今日より若くなることはできません。できることなら健やかに、元気に年を取りたいと考え、楽しめる活動を計画しています。福寿会さんとの交流カローリング教室もその一つです。また、みやま会では、考えることや、指先を動かすことで、脳を活性化させる「健康麻雀」も人気があります。役満（難易度の高い役）が出れば賞状が出ますし、初心者の女性が多いのも特徴です。

地域貢献する「貢」齢者。地域で輝く「光」齢者。みんなを幸せにする「幸」齢者―。それぞれの人が、それぞれのステージで輝いている――。

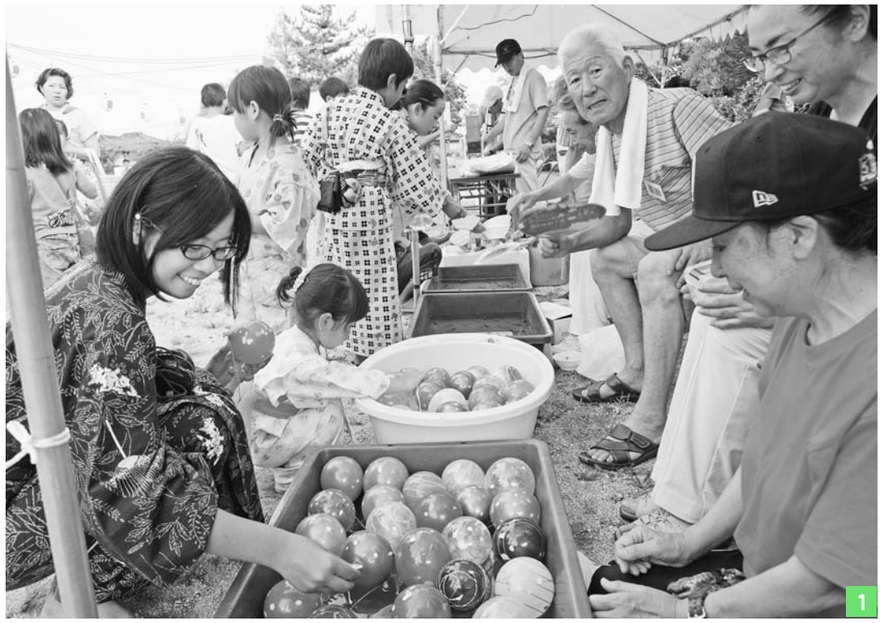


写真1　地域のまつりに実行委員会として参加している老人クラブも多い。写真は8月3日、阿品四丁目夏まつりを盛り上げた地元老人クラブ「藤友会（とうゆうかい）」の皆さん。　写真2　学校支援地域本部事業に積極的に参加している地域もある。写真は、友和小学校で行われた学習支援の様子。　写真3　夏休み中のラジオ体操に参加し、地域を盛り上げる会員も多い。

「地域に必要とされている」、「地域で輝いている―」。

生きがいを持って毎日の生活を送り、幸せに年を重ねる。そんな「幸」齢者を増やすことがこれからのまちづくりに不可欠となっている。

また、充実した人生を送っている人は輝いている。人や地域とのかかわりの中で、自らのチカラを発揮している人たちの目はキラキラと輝いている。そんな「光」齢者が増えることで、地域のチカラとなって、地域を元気にしていく。

仕事が一段落したあとのセカンドステージ（第二の人生）は、自分が楽しみながら、地域や社会を元気にできるステージ。地域社会は、豊富な知識や経験、高い技術を持った高齢者の活躍を必要としている。

さまざまな活動で地域を支えている老人クラブ。そこに参加することで、幸せに年を重ねる一つのきっかけになるのではないだろうか。

老人クラブに加入するには

お住まいの老人クラブに直接申し込んでください。不明な場合は、市老連事務局☎㉛5777（火・木曜日10時～16時）または、高齢介護課☎㉚9155まで。

廿日市市老人クラブ連合会芸能大会

11月21日（木）10時～
さくらぴあ小ホール
会員以外の方も入場できます。お気軽にご来場ください。

人とのつながりや、心の触れ合いを実感することは、笑顔につながるんです―。

廿日市市老人クラブ連合会　副会長
大野支部　万年青会連合会　副会長
三村（みむら）　速美（はやみ）さん

活動は、年代を気にせずにできるように気を付けています。ほとんどのクラブでは、会員の半数が女性というのも魅力の一つ。どんな活動にしても、上手、下手ではなく、参加したら楽しかったと言われる活動を目指しています。

活動に参加して、人とつながることや仲間が増えることは、お互いを笑顔にします。これからも心の触れ合いや、地域のつながりを大切にして、活動を続けていきます。

―Intervuew―
市長×市老連会長

7月に古希（70歳）を迎えた眞野市長。
地元の老人クラブ、佐方第二白楽会に加入した。
市老連会長の難波さんと市長に、
長寿社会を迎えるこれからのまちづくりを聞いた―。

これからの長寿社会、「幸」齢者のスキルをいかに発揮できるかが、カギになります。豊かな知識や技術など、

老人クラブは、「老人」という言葉の響きから、加入をためらっている人も多いのではないでしょうか。「まだまだ現役、老人ではない」という意識が働くのかも知れません。そのため、各地域の単位老人クラブではそれぞれ固有の名称で活動しているクラブもあります。

老人クラブは、「地域と福祉を支える」という大きな理念に基づいて活動を行っています。長寿社会を迎え、人や地域のつながりが希薄になってきている現在、地域活動団体としての老人クラブの社会的必要性や役割は大きくなっていると認識しています。私たちも、「まちづくりを進めていく大きな使命がある」という自覚を持って行動しています。

退職して間もない方々は、知識もスキルも豊富です。ぜひ、クラブに加入して、絆による安心・安全なまちづくりにチカラを発揮してほしいと思っています。

廿日市市老人クラブ連合会
難波（なんば）　督雄（とくお）　会長

もうすでに、市民の4人に1人が65歳以上という、長寿社会を迎えています。そしてさらに今後、この割合は加速していくものと思われます。だからこそ、生きがいづくりやボランティア活動など、地域で活動する老人クラブの存在意義は、今後ますます大きくなると認識しています。

皆さんが持っている長年培ってきた豊富な知識や技術は、大事な「地域の財産」であり、「地域資源」です。その資源をいかに活用できるか、それが地域活性化のカギだと思っています。地域でそのチカラを生かしながら、笑顔の絶えない毎日を送っていただきたいと思っています。

「幸」齢者がいつまでも元気なまちは、住みやすさの証明です。老人クラブの活動の中で生まれる笑顔が増えれば、まちがそれだけ元気になり、それが直接まちづくりにつながっていくと考えています。

廿日市市
眞野（しんの）　勝弘（かつひろ）　市長

―特集「幸」齢者になろう―　終わり―

広島県動物愛護センターに引き取られたうちの１匹。野良犬として保護されたが、おとなしく、人に慣れていることから、元は飼い犬ではないかとセンター職員の河村美登里さんは話す。

「いのち」は泣いていた―

９月20日㈮～26日㈭は動物愛護週間です。

問合せ　環境政策課　☎㉚9132

犬猫104匹

平成24年度廿日市市で
広島県動物愛護センターに引き渡された命の数

引き取る犬猫を「0」にしたい

「私が歳をとって、飼えなくなってしまったんですよ」そんな理由で飼い主が、広島県動物愛護センターに持ち込んだ一つの命。

「まず、私たちはここに来た飼い主に、『新しい飼い主を探す努力をしてください。親戚や、子どもさんには相談しましたか。この子がこの後、どうなるかご存じなんですか』と問いかけます」と話してくれたのはセンター職員の河村美登里さん。

それでもさまざまな事情で持ち込まれる犬や猫は後を絶たないのが現状。平成24年度、センターで引き取られた犬と猫は合わせて４４８６匹に上る。そして、ここに来る犬猫の多くは「殺処分」という不幸な最期を迎える。

「しかし、この施設は処分を目的としているわけではありません」と河村さんは強調する。

「引き取る犬猫を『0』にしたい、それがセンター職員全員の思いです」。

センターでは処分される犬猫をなくすため、日々、動物愛護教室や、犬・猫の飼育講習会などの「動物愛護管理業務」にも取り組んでいる。

この日、愛護業務の一つとして「犬の譲渡」が行われていた。譲渡前には飼育希望者に譲渡講習会を行い、飼い主に必要な覚悟と責任を知ってもらう。その上で、誓約事項を守れる人に譲渡が行われる。

「犬を飼うためには、犬の寿命、しつけや世話をする時間、病気になったときの診療費、餌代など知らなければいけないこと、それを知った上での覚悟が必要です。『かわいいから』だけでは飼えません」と河村さんは話す。

センターで平成24年度譲渡された犬猫は２４５匹。新しい家族のもとへ譲渡されていった犬や猫たちの背景には、たくさんの失われた命がある。

山藤佑華（さんとう・ゆうか）さん（写真左）・柿手久志（かきて・ひさし）さん（写真右）
この日譲渡された犬

愛護業務が実を結び、救われた一つの命―。

この日犬の譲渡を希望した柿手久志さんと山藤佑華さん。「孫が小学校でこのセンターが行う愛護教室を受けたのがここに来るきっかけでした」と柿手さん。孫の山藤さんは「家族が増えてうれしい。」と顔をほころばせる。

センターでは犬猫の譲渡のほか、愛護教室や犬に社会性を身につけさせる「パピーパーティー」が行われています。これは生後６カ月までの犬を対象に、問題行動の予防や対処法、基本的なしつけを犬と飼い主が共に学ぶ場です。事前に申し込みが必要です。

詳しくは広島県動物愛護センターホームページをご覧ください。

問合せ　広島県動物愛護センター　☎0848㊻6511

写真１_犬の譲渡講習会で配られる冊子裏にかかれた誓約事項。写真２_収容室で処分を待つ犬。写真３_施設の操作盤。処理はボタン一つで行われる。写真４_殺処分のガス部屋通称「ドリームボックス」に続く道。収容された犬たちは迫る自動扉に追いやられ、ガス部屋へと入っていく。

「確かに、ここに来た子犬や子猫のなかには新しい家族として迎えられる子もいます。しかし、すべての子が救われるわけではないんです。犬や猫は一度にたくさんの子どもを出産します。その子たちが引き取られたときの健康状態や、人に懐くかどうかなど、私たち職員は同じ命の中から順位をつけなければいけないんです」。

犬がセンターに持ち込まれる理由の１つとして、近所迷惑や人に危害を加えるなどの「しつけ不良」が挙げられる。

「犬が言うこと聞かない、散歩に出ると暴れる。そういった理由からここに連れてこられる犬も多くいます。しかし、人間だって学ばなければ、話すことさえできないように、犬たちも同じように学ばなければ、人間の社会には適応できないんです」。

どうすれば幸せになれるか

「犬や猫の飼い主だけの問題ではありません」と河村さん。例えば、野良猫への無責任な餌やり行為。これだけでは、野良猫を繁殖させることになり、結果的に交通事故に遭うなどの不幸な動物を増やすことになる。また、糞害などにより犬や猫がその地域の悪者になってしまう。餌を与えるのであれば、不妊去勢手術や室内飼育なども行い、責任をもって最後まで飼育する覚悟をもってほしい。

「どうすれば幸せになれるか、それを求めるのは人間も犬猫たちも同じなんです」と河村さんは檻の中の犬たちを見つめながら話す。

「動物たちは、人間社会の中で、一匹だけで生きることはできません。そのため、動物愛護センターでは『動物を飼うということは、命を預かるということ』、『その動物に係るさまざまな責任が生じるということ』を業務の中で伝えています。そして、彼らと共に過ごす日々を大切なものだと感じてもらいたいと願っています」。

私たちの生活の中で、彼らは共に生きるパートナー。「一匹だって処分されていい命なんてないんです。動物に関わる人が、命について考えることが大切なんです」。

広島県動物愛護センター
河村　美登里さん

1　ゴマフアザラシの赤ちゃんの名付け親となった椋田夏葵さん。　2　「フウ」です。水族館で待ってるよ。みんな、会いに来てね。　3 1日子ども館長の委嘱を受ける京極清華さん（写真左）と宮郷良太くん（写真右）。

宮島水族館開業２周年

毎年8月1日は、宮島水族館の日

８月１日、宮島水族館が開業２周年を迎えました。

館内では記念イベントが開かれ、４月18日に誕生したゴマフアザラシの命名式や、１日子ども館長の委嘱式が行われました。

今回、名付け親に選ばれたのは椋田夏葵さん（海田小学校２年生）。名前は「フウ」に決まりました。椋田さんは「写真をみて、ふわふわとしてかわいいから『フウ』と名付けました」と話してくれました。

また、この日１日館長に任命された宮島小学校３年生の宮郷良太くんと同校４年生の京極清華さんはアシカライブの参加や、ペンギンの餌やりなどを体験しました。

宮島水族館館長塚本博一さんは「開業２周年を迎え、訪れた人が何度でも来たいと思えるような取り組みをしたいです」と話してくれました。

山陽女子短期大学との連携協定

「食」や「健康」の分野で、特色を生かす

８月７日、山陽女子短期大学と廿日市市は、包括的連携協力に関する協定を締結しました。

今年、同短大は開学50周年、市は市制施行25周年の節目の年にあたります。両者は長年にわたり、公開講座の開催や、生涯学習分野での協力を続けてきました。今後も、同短大の研究成果や、学生・教職員などの人材をまちづくりに生かし、より一層協力関係を深めていきます。

協定書に調印し、硬く握手を交わす石永正隆学長（左）と眞野勝弘市長（右）。

1　地元吉和子ども神楽団による演目「大江山」。　2　第２部会場の吉和グラウンド　3　大松しんじさんによる歌謡ショー。　4　第１部で行われたあまごのつかみ捕り。子どもたちの歓声が親水公園に響いた。　5　地元の女性で結成された「吉和アロハフラ」によるフラダンス。　6　約３万本のひまわりが大輪の花を咲かせたひまわり畑。記念写真を撮る家族連れでにぎわった。　7　吉和の空を彩った2500発の打ち上げ花火。

吉和夏まつり

2500発の花火が、吉和の夜を彩る

８月15日、吉和夏まつりが開催されました。

第１部の会場となった国道186号沿いのひまわり畑では、約1.5haに植えられた約３万本のひまわりがお出迎え。また、親水公園では、あまごのつかみ獲りが行われ、捕ったあまごはその場で塩焼きに。涼を求める家族連れでにぎわっていました。

昼からの突然の雨も夕方には上がり、第２部は吉和グラウンドを会場にスタート。ステージでは、地元吉和子ども神楽団を始め、たくさんの催しで盛り上がりました。

「吉和を訪れた人に、吉和の良さを知ってもらいたいですね」と、吉和夏まつり実行委員会会長の梶本正五さん。当日の来場者は約７千人。市制施行25周年を記念し、2500発の花火が吉和の空を彩り、まつりの最後を締めくくりました。

My Town Topics —まちのわだい— まちの旬な話題を提供します

1・6　晴天に恵まれ、気温も高かったまつり会場。会場横を流れる小瀬川では、水辺で遊んだり、涼をとったりする人が多く見られました。　2　栗栖神楽団による神楽舞。　3　まつりのシンボル竿灯（かんとう）。夜の会場を彩りました。　4　佐伯名物かかしも参加。店先で訪れた人を和ませました。　5　森進一のそっくりさん「森進伍さん」による歌謡ショー。客席に降りてのパフォーマンスに会場は盛り上がりました。　7　ステージでは１日を通し、さまざまな演目が繰り広げられました。写真はステージを見つめる来場者。

さいき水まつり2013

水辺でホットなひと夏の思い出作り

７月27日、さいき水まつりが岩倉ファームパークで開催されました。会場中央の広場では屋台が立ち並び、大勢の来場者でにぎわいました。また、当日は天気もよく、会場横を流れる小瀬川では水辺で泳ぐ人や、水遊びをする人が多く見られ、魚のつかみ獲りなどのイベントも開催されました。

地元佐伯高校の生徒も応援に駆けつけ、まつりの準備を手伝いました。佐伯高校２年生の松林達也さんは「にぎやかな祭りになってうれしいです。忙しいですが、充実しています」と話してくれました。

当日の来場者は８千人。日が沈んだ後も、ステージでは歌謡ショーや、栗栖神楽団による神楽舞が披露されました。祭りの締めくくりには1800発の花火が打ち上げられ、夏の夜空を焦がしました。

廿日市おおの賑わい市

廿日市の「おいしい」が大集合

８月３、４日、大野支所を会場に「廿日市おおの賑わい市」が開催され、市内各地の特産品などを販売する36店舗が出店しました。

この催しは、大野支所敷地を核に、賑わい創出の拠点整備を総合的に検討するための実証実験として開催。賑わい施設〈道の駅〉推進協議会会長の滝口義明さんは「この催しをきっかけに、大野だけではなく、廿日市全域を盛り上げるような道の駅の構想を練っていきたい」と話しました。

写真は３日の会場の様子。この日来場した田中亜矢乃さん（大野１丁目）は「大野が活性化されるきっかけになればうれしい」と話してくれました。

2013はつかいち平和の祭典　平和学習

「はだしのゲン」に込めた思いを感じてほしい

戦争の悲惨さや、平和について学ぶ「2013はつかいち平和の祭典」の平和学習が、７月30日、さくらぴあ大ホールで行われました。

今回は、映画「はだしのゲン（実写版）」が午前・午後の２回上映され、約千人の参加者が戦争や平和について考えました。

午後の上映前には、原作者の故中沢啓治さんの妻のミサヨさん（70）が講演。作品に対しての啓治さんの思いを話してくれました。

自身も原作の制作に携わったというミサヨさん。「主人はいつも『平和ほど大切なものはない』と言っていました」と、平和の大切さを訴えました。

南三陸町で体験交流会に高校生が参加

人ごとではない震災後の状況を学ぶ

廿日市市在住の森香純さん（観音高校３年）と、田野原楓さん（廿日市高校３年）が、宮城県南三陸町での体験交流会に参加しました。

二人は、ジュニアリーダーとして、７月22日から５日間、仮設住宅に住む人などとの交流を通じて、震災について学習。「実際に行かないと分からないことが多かったです」と、田野原さん。森さんは、「見聞きしたことを地域に伝えなければと思いました」と話してくれました。

二人は７月29日、奥教育長を表敬訪問し、交流会で学んだことを報告しました。写真左から森香純さん、奥典道教育長、田野原楓さん。

戦争のない世界を このまちから―

2013はつかいち平和の祭典 ～つなぐ 命・平和～

誰かが伝え続けなければなりません。
平和は、尊いものだと。
その思いが一つになれば、
きっと、誰の心にも届くはず―。
７月27日、さくらぴあ大ホールで行われた
2013はつかいち平和の祭典。
ホールを揺らした祈りの声と、
平和を願う行動をカメラが追った―。

忘れてはならない―

「はつかいち平和の祭典」は、昭和63年に始まった「平和教育講座」にさかのぼり、その後名称を「平和のつどい」、「音楽の夕べ」、「平和コンサート」と変えながら現在に引き継がれている。12年前からは実行委員会が組織され、すべての企画、運営を市民で行っている。

その根底に流れているのは「憎しみからは何も生まれないことを世界初の被爆地『ヒロシマ』から発信しよう」という強い思いだ。

7月27日には、祭典のメーンイベントである「オーケストラと歌おうふるさとの四季」をさくらぴあで開催。各市民センターなどへ寄せられた折り鶴の受け渡し式から始まり、四季が丘小学校合唱団による合唱、ムジーク シュトラーセンと四季が丘小合唱団の合唱、音訳ボランティアグループ つばさによる朗読が行われた。さくらぴあ市民オペラ管弦楽団の演奏による全体合唱では、総勢115人の合唱団が、唱歌メドレー「ふるさとの四季」や「赤とんぼ」を力強く熱唱。ホールに集まった人たちと気持ちを一つに、反戦への明確な意思を発信した。

太平洋戦争終了から68年。戦争を経験した人たちが少なくなりつつある今だからこそ、忘れてはならないことをホールから力強く訴えた。

実行委員会では、コンサート活動以外にも誰にでもできる平和維持活動として、「書き損じはがきの回収運動」をユネスコの「世界寺子屋運動」の一環として6年前から行っている。1枚の書き損じはがきが45円の募金となり、戦争や内乱で学習機会を奪われた子どもたちの学習の場を提供するために使われる。

また、今年は廿日市高校書道部の皆さんが書いた、はつかいちへいわのうた「桜と空に折り鶴を」の歌詞をホールホワイエに展示。地元の高校生も書の作品を通じて平和の大切さを訴えた。

写真の説明

写真_1　この日のために編成された115人の大合唱団。最年少は８歳、最高齢は85歳。平和への祈りを歌に込め、唱歌メドレーなどを力の限り歌いあげた。**写真_2・3**　「祈りの相続」などを朗読し、平和へのメッセージを発信した「音訳ボランティアグループ　つばさ」の皆さん。祭典への参加は12回目。**写真_4**　力強い歌声は、観客の心の奥に届き、客席からは大きな拍手が贈られた。**写真_5**　「はつかいちへいわのうた・桜と空に折り鶴を」を歌った香川裕光さん、咲良さん（ムジーク　シュトラーセン）と四季が丘小学校合唱団。この歌は、子どもたちに歌ってもらえる歌を地元の若い人に作ってほしいと、市内で活動するムジーク　シュトラーセンに依頼し、完成した。**写真_6**　演奏は、さくらぴあ市民オペラ管弦楽団が担当。**写真_7**　合唱指導・指揮を務めたのは、市内在住の音楽家・松本憲治さん。**写真_8**　４月から８回の練習を積んだ合唱団。その歌声は、ホールを揺らした。**写真_9**　祭典に届けられた16万羽を超える折り鶴は、実行委員の手によって広島平和公園にある「原爆の子の像」横の専用部屋に献納された。写真は、「原爆の子の像」に祈りをささげる実行委員の皆さん。委員の一人は、「地道な活動でも、やがては争いのない世界をつくると信じています」と話す。

緊張したけど、楽しかったです―

四季が丘小学校合唱団６年生の野田くるみさん（写真左）と、今田きららさん（写真右）。「今持っている力を出し切れたと思います。緊張したけど、拍手をもらえてうれしかったです」と、二人は声をそろえた。

■５年間、お世話になりました。

ありがとう―、リサ・ジャン

国際交流員

この８月に、国際交流員として任期満了し、退任となりました。私は８人目の国際交流員として、平成20年８月に来て、最長の５年間という期間、勤めることができました。この５年間は、いろいろな仕事に従事させていただいたおかげで、たくさんの経験を積むことができました。

私が日本を好きになったきっかけは「モーニング娘。」でした。一生懸命日本語を勉強して、いつかコンサートを見に行きたいという夢を抱きました。そのために、いろいろなスピーチコンテストや試験を受けたりしましたが、どれもダメでした。そして、ＪＥＴプログラム（語学指導などを行う外国青年招致事業）の募集を最後のチャンスだと思って応募したところ、悲願の日本にようやく来ることができました。しかし、それは終わりではなく、始まりでした。

「廿日市市」に行くと分かったとき、どんな場所かがよく分かりませんでした。アルバイト先の人に聞いてみると、宮島があるところだと分かって、すごい場所だと知りました。その後、インターネットで検索したら、廿日市市の地名の由来は中世から毎月20日に「市」を開いたのが理由で、「廿日市」になったそうです。その理由が面白くて、新鮮だと感じたので、ますます楽しみになりました。

今までの国際交流員は欧米系の方で、アジア出身は私が初めてでした。ニュージーランド出身とは言いながら、本当は台湾で生まれて、ニュージーランドに移住したので、皆さんがどう受け止めてくれるか、不安がいっぱいでした。また、料理も工作も不得意な私で大丈夫か、とても心配でした。そのときにある方の言葉に救われました。「リサにしかできない事はきっとありますよ！」その後、自分でもじっくり考えてみると、台湾に住んだことがあり、ニュージーランドにも住んだことがあるので、２つの国を紹介できると思いました。また、２つの国に住んだことがあるからこそ、それぞれの人の気持ちが分かるんじゃないかと思いました。そして、在籍の５年間に今までできなかった台湾の紹介や、ニュージーランドを違う視点で紹介する取り組みもたくさんしました。

この５年間は苦悩と失敗、そして再チャレンジの毎日でしたが、私にとって、人生でたった一度の貴重な経験でした。この５年間で、経験したことや学んだことをこれからの人生にも生かして歩みたいと思っています。本当に、ありがとうございました。

リサのKUMARA TALK

５年間に渡り、このコーナーを担当していただいたニュージーランド出身のリサ・ジャン国際交流員。今月でこのコーナーは終了します。タイトルの「KUMARA」は、ニュージーランドで使われるマオリ語の「さつま芋」という意味。また、生まれた国である台湾の形が「さつま芋」に似ていることから交流員の二つの故郷にちなんでいます。

講座・催し

■四宮神社祭「たのもさん」

宮島観光協会☎㊹2011

旧暦八月一日の八朔（はっさく）の日に島民達が五穀豊穣（ほうじょう）を祈願した「たのも船」を紅葉谷　四宮神社に集め、おはらいを受けた後、海に流す民俗行事です。

とき　９月５日㈭
たのも船集合　18時～
四宮神社祭　20時～

ところ　四宮神社から嚴島神社周辺海岸

■二百廿日豊年市民祭

廿日市商工会議所☎⑳0021

とき　９月14日㈯14時～（開会式は16時45分～）

ところ　中央市民センター、周辺商店街

※駐車場はありません。公共交通機関を利用してください

内容　景品付きおみくじ（天満宮）▼露店通り（本通り商店街）▼屋台広場（中央市民センター駐車場）▼豊年踊り（中央市民センター駐車場）▼俵みこし（中央市民センター～天満宮～各商店街～中央市民センター）▼和太鼓演奏など（駅通り商店街内）▼郷土神楽（中央市民センターホール）▼鬼・天狗　①15時～②16時～③17時～　毎回45分出演（各商店街）

■ときめきフェスティバル

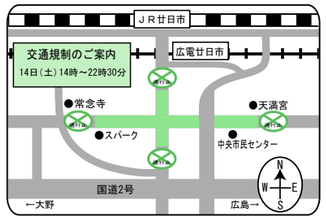
大野町商工会☎㊺3111

とき　９月29日㈰10時～16時

ところ　大野体育館・大野市民センター・図書館周辺

内容　▼ステージひろば▼文化ひろば（アロマテラピーなど）▼子どもひろば（けん玉大会など）▼ときめきひろば（飲食・物販コーナーなど）

※駐車場の混雑が予想されますので、おおのハートバスを利用してください



※９月14日㈯は、図のとおり交通規制があります。また、東循環のさくらバスルートが変更になります。一部の便が中央公民館前、大東、大東住宅前バス停には止まりません

■宮島観光登録ガイド試験

宮島観光協会☎㊹2011

宮島観光登録ガイド試験を実施します。

応募資格　18歳以上の人

試験日程　▼一次試験（筆記90分）９月21日㈯10時～11時30分▼二次試験（実地150分）10月上旬▼三次試験（面接20分程度）10月中旬

※会場はいずれも宮島地域内

応募方法　履歴書を次へ直接または郵送で。

〒739―0505
廿日市市宮島町1162番地18
宮島観光協会事務局

申込締切　９月15日㈰消印有効

■平成26年宮島水中花火大会予定日の宿泊予約

みやじま杜の宿☎㊹0430

平成26年８月11日㈪の宿泊予約は、往復はがきに①住所、②名前、③電話番号、④宿泊希望日、⑤宿泊人数（大人・小人・幼児・乳児の内訳および男女の内訳）と返信用宛先を記入して次へ申し込んでください。

〒739―0588
廿日市市宮島町大元公園内
国民宿舎みやじま杜の宿

応募期間　９月１日㈰～30日㈪（消印有効）

※応募は１人１通まで。公開抽選により決定

■はつかいち防災フォーラム

地域政策課☎㉚9139

市民の皆さんを対象に、「防災・減災」について、地域でどのように取り組むかを考え、地域住民の「自助」「共助」「近助（所）」の意識を高めるために、防災講演とパネルディスカッションを開催します。

とき　９月７日㈯10時～12時

ところ

●講演　「地域を見つめなおすことから始まる防災」
▼**講師**　広島経済大学教授　松井一洋（まついかずひろ）さん

●パネルディスカッション
テーマ　「地域づくりの視点から防災・減災を考える」
コーディネーター　松井一洋さん
パネリスト　越山浩則（こしやまひろのり）さん（四季が丘地区自主防災連絡協議会）▼井上美代子（いのうえみよこ）さん（市社会福祉協議会）▼中村満（なかむらみつる）さん（廿日市市地域政策課）

入場料　無料　**申込み**　不要

※駐車台数に限りがあります。できるだけ公共交通機関を利用して来場してください

■さくらぴあイベント

さくらぴあ☎⑳0111

●NHK公開録画「スクールライブショー」観覧募集

全国各地の中高生がパフォーマンスを披露し、コンテスト形式で競うステージショー番組。

今回は、「ストリートダンスチームバトル　西日本グランプリ」の収録を行います。

とき　11月23日㈷16時15分～

ところ　さくらぴあ大ホール

出演　TAKAHIRO（上野隆博（たかひろ）・プロダンサー）ほか

司会　サバンナ（お笑いタレント）、松本あゆ美（フリーアナウンサー）

申込方法　入場は無料ですが、入場整理券（１枚で２人入場可）が必要です。往復はがきで、さくらぴあに申し込んでください。詳しくは、さくらぴあ、またはNHK広島のホームページを確認してください。

〒738―8509
廿日市市下平良１―11―１
さくらぴあ「スクールライブショー」観覧係

申込締切　10月29日㈫必着

※NHKでは、応募情報を受信料のお願いなどに使用することがあります

●第13回さくらぴあ神楽共演大会

広島の西部地区の神楽団による豪華な共演です。

とき　９月22日㈰10時開演

ところ　さくらぴあ大ホール

入場料　１階　大人1000円
小中学生300円▼２階　大人800円　小中学生200円（全席指定）

※チケット発売中

今月の廿日の市

問　はつかいち観光協会☎㉛5656

■９月20日㈮
８時30分～10時30分

売り切れ次第終了
ところ　新宮中央公園（けん玉公園）

■タカの渡り観察会

とき　９月23日㈷９時30分～15時

ところ　おおの自然観察の森

予約　不要

講師　タカアドバイザー中丸　元良さん

タカの渡り（東南アジア）のルートである、おおの自然観察の森の上空を通過するタカ（ハチクマ）などを観察してみませんか。

問　おおの自然観察の森☎㊺3000

■第3回地域学セミナー

経営政策課☎㉚9120

廿日市市連続公開講座第3回地域学セミナーを開催します。テーマは「中山間地域のまちづくり（コミュニティ）」です。

とき 9月21日(土)14時～15時30分
ところ さいき文化センター
講師 活気ある浅原を創る会会長 酒井豊裕（さかいとよひろ）さん
内容 浅原地域での活動を通して得たものや、コミュニティの必要性、課題への取り組みなどについて紹介します。
受講料 無料
申込方法 経営政策課へ電話で

■「人形劇」がやってくる！

はつかいち市民図書館☎⑳0333

今年も図書館まつりで人形劇を開催します。

とき 11月9日(土)10時30分～12時
ところ さくらぴあリハーサル室
演目 「はらぺこおおかみとぶたのまち」ほか
出演 人形劇コロコロ座・どんぐり座
対象 幼児（3歳）以上
定員 120人
入場料 無料
申込方法 往復はがきに「人形劇希望」と明記し、①住所、②名前、③電話番号を記入し、次へ（返信面にも住所と名前を記入）

〒738―0023
廿日市市下平良1丁目11番1号
はつかいち市民図書館

※はがき1枚で4人まで申し込み可。（全員の名前を記入、3歳未満は申し込み不要ですが、人数把握のため3歳未満○名と記入）。応募者多数の場合、抽選
申込締切 9月30日(月)必着

■平成26年成人式

生涯学習課☎㉚9203

とき 平成26年1月13日(祝) 10時～12時
ところ さくらぴあ
対象 平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれの人

※12月1日現在、市内に住民登録がある人には、12月中旬に案内状を送付します

市外在住の人は申し込みを
市外に住民登録を移した新成人でも、保護者が市内在住であれば、申し込みにより保護者宛てに案内状を送付します。

申込方法 はがきに「成人式出席希望」と記入し、成人者の①名前（ふりがな）、②生年月日、③性別、④保護者の名前、⑤保護者の郵便番号・住所、⑥保護者の電話番号を記入し、次へ。

〒738―8501（住所不要）
廿日市市役所生涯学習課

申込締切 11月29日(金)消印有効

※本人、保護者ともに市内に在住していなくても成人式に参加できます。申し込みは不要ですが、記念品はありません

■人権問題啓発活動推進者育成研修会

人権・男女共同推進課☎㉚9136

市民の立場で、人権啓発活動を推進するために必要な人権問題に関する基礎的な知識を習得していただくことを目的に研修会を開催します。どなたでも参加できます。

とき 9月9日(月)10時30分～15時
ところ 市役所7階会議室
内容 ①講義「同和問題・基本的人権について」講師 広島法務局職員▼②各地区人権問題啓発活動推進者の会の活動紹介
申込方法 9月5日(木)までに、人権・男女共同推進課まで電話で

■廿日市市制施行25周年記念事業 広島修道大学公開講座

生涯学習課☎㉚9203

いま、親にいちばん必要なこと～豊かな親子関係を作るために～をテーマに開催します。

とき 9月28日(土)「わからせる」より「わかる」こと▼10月12日(土)「絶対ダメ！」は「ゼッタイ、ダメ！」

※各日とも10時30分～12時

ところ あいプラザ
講師 広島修道大学元教授 春日耕夫（かすがこうふ）さん
定員 150人（先着順・高校生以上）
受講料 無料
申込方法 ①「春日先生講座」（№13―103）希望、②名前（ふりがな）、③住所、④電話番号、⑤生年月日を記入し、郵送、ファクスまたはメールで次へ（電話での申込不可）

〒731―3195
広島市安佐南区大塚東1―1―1
広島修道大学学術交流センター
☎082（830）1114
FAX082（830）1932
Eメール gakukou@js.shudo-u.ac.jp
申込締切 9月18日(水)

■廿日市市制施行25周年記念事業 県立広島大学連携公開講座

生涯学習課☎㉚9203

「読書の秋に中国古典文学を」

とき ①10月18日(金)漢詩文を音読しよう▼②11月1日(金)四大奇書ってなあに

※いずれも14時～15時30分

ところ あいプラザ
講師 県立広島大学人間文化学部教授 丸山浩明（まるやまひろあき）さん
定員 30人程度（申込多数の場合抽選）
受講料 千円（2回分）
申込締切 9月30日(月)必着
申込方法 往復はがきに、「中国文学受講希望」と記入し、①名前（ふりがな）、②住所、③電話番号と、返信面に受講する人の住所と名前を記入し、次へ。

〒738―8501（住所不要）
廿日市市役所生涯学習課

※往復はがき以外での申し込み不可（はがき1枚につき1人）

■文化教室

妹背ウォーターフォールクラブ☎㊹0124

内容	曜日	時間	対象
絵画教室	第1、3土曜日	13:30～15:00	小学生
アロマテラピー教室	第2水曜日	10:30～12:00	18歳以上
はたおり教室	第2、4金曜日	10:00～12:00	18歳以上

ところ 大野体育館 **定員** 各20人 **参加料** 初回無料
材料費 絵画200円、アロマテラピー1,000円、はたおり6回3,000円
申込方法 ①名前、②電話番号、③教室名、④参加希望日を電話で
※定員になり次第締め切り。詳細は問い合わせてください

■入札参加資格申請の追加受付

申請期間 10月7日(月)～11日(金)

平成25・26年度に市および市水道局が発注する建設工事及び測量・建設コンサルタント等業務について、入札参加資格審査申請の追加受付を実施します。なお、今回の申請方法は電子申請のみです。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

問 契約課☎㉚9108

長寿をお祝いします

問 高齢介護課☎㉚9155

市では、長年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し、長寿を祝います。

コミュニティ、町内会などが協力して各地域で行う敬老事業（敬老会）を支援します。▶88歳の人に記念品を、100歳の人に敬老金を贈ります。

ロマンの小径

問 はつかいち観光協会☎㉛5656

平良コース 廿日市の古い街並みをゆっくり歩きながら由緒ある神社仏閣を探訪します。

とき 9月26日(木) **集合場所** JR廿日市駅8時50分
解散場所 JR廿日市駅 12時頃 **定員** 50人（要申込）
参加費用 400円（保険代ほか） **申込み** 電話で

福祉・健康

■軽度・中等度難聴児の補聴器購入費助成

障害福祉課☎㉚9152

市内に居住している身体障害者手帳の交付対象とならない18歳未満の軽度・中等度の難聴児を対象に、補聴器の購入に要する費用の一部を助成します。

助成対象 新しく購入する費用、または補聴器の耐用年数が経過し、新たに購入する費用が対象となります（補聴器の装用効果が高い片側装用が原則）。

※支給には条件あり。詳細は、問い合わせてください

申込み・問合せ 市役所1階障害福祉課、各支所市民福祉グループ

■補装具相談（判定）会

障害福祉課☎㉚9152

身体障害者手帳を持つ肢体不自由または聴覚障がいの人の補装具について、相談（判定）会を行います。（要予約）

とき
聴覚障がい者 11月6日(水)
肢体不自由者 11月14日(木) 13時～14時
ところ あいプラザ
対象品目 聴覚障がい者 補聴器▼肢体不自由者 車椅子（レディメイドなどを除く）、電動車椅子、座位保持装置、義肢、装具
申込方法 市役所1階障害福祉課または各支所まで直接来庁してください
申込締切
聴覚障がい者 10月23日(水)
肢体不自由者 10月31日(木)

■黒い雨体験相談・支援

保険課☎㉚9160

原子爆弾投下直後に降った黒い雨により、今も健康に不安を抱える人に対する相談・支援を新たに10月から開始します。

対象者
本市に居住し、被爆者健康手帳または第一種健康診断受診者証を持っていない人で、被爆地域の拡大を求めた地域で原爆投下直後に黒い雨を体験し、健康不安のある人。

内容
①保健師相談（予約制）
市の保健師が健康不安の相談に応じます。
②専門医相談（予約制）
保健師との相談の後、希望に応じて専門医による相談を受けることができます。
③健康診断料の助成
専門医に相談した人で、特定健診や後期高齢者健診、本市が実施するがん検診を受診し、自己負担が生じている場合は、年1回に限り後払いで助成を行います。

※相談・支援を利用する人は利用申請が必要です。対象地域、相談日など詳しくは問合せてください

問合せ 保険課、各支所市民福祉担当グループまたは、県庁被爆者支援課☎082（513）3109

被爆地域の拡大を求めた地域

■国保被保険者証の更新（保険証）

保険課☎㉚9159

現在の国民健康保険被保険者証の有効期限は9月末までです。国民健康保険加入者人数分の新しい保険証を、9月30日(月)までに世帯主あてに送付します。10月以降に医療機関を受診される場合は、必ず新しい保険証を使用してください。

なお、就職などにより資格に変更があった場合は、早めに手続きをしてください。

※古い保険証は、市役所、各支所、各市民センターにある回収箱へ返却するか、各自で処分してください

スポーツ

■新体力テスト

文化スポーツ課☎㉚9206

とき 10月14日(祝)9時～12時（受付11時まで）
ところ サンチェリー
内容 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、急歩（男子1500m、女子1000m）、立ち幅跳びの項目で測定します。合わせて健康チェックとテストの総合評価を行います。
対象 20～64歳の人（対象年齢外の人も測定可能）
参加費 無料

※運動のできる服装、体育館シューズが必要。事前申込み不要

■第4回廿日市市小学生陸上競技記録会

ユアックさいき（佐伯総合スポーツ公園内）☎⑫1261

とき 10月12日(土)9時～（受付8時30分～）
ところ 佐伯総合スポーツ公園陸上競技場
対象 市内の小学生
種目 1・2年生60m▼3・4年生100m▼5・6年生100m、800m▼全学年走り幅跳び、リレー
参加費 1人100円

※申し込み方法などは問い合わせてください

申込締切 9月27日(金)必着

■貯筋運動・ヨガ・ピラティス無料体験会

廿日市スポーツクラブ☎㊴4150

日常では使わない筋肉を刺激して基礎代謝を上げる事で太りにくい体、健康な体を維持するための運動です。ヨガ・ピラティスは、ほかの時間帯の無料体験も開催中です。

種目	曜日	場所	時間
貯筋ステーション	毎週水曜日	サンチェリー大会議室	10:00～11:30
ピラティス	毎週木曜日		19:30～20:30
リフレッシュヨガ	毎週火曜日		19:30～20:30
	毎週水曜日		19:00～20:00
	毎週木・金曜日		10:00～11:00

※詳しくは廿日市スポーツクラブのホームページ、または問い合わせてください

■納期限 9月30日(月)

国民健康保険税（普通徴収）第3期 介護保険料（普通徴収）第3期
後期高齢者医療保険料（普通徴収）第3期

■夜間納税窓口 9月26日(木)・27日(金)

17時30分～20時
市役所1階税制収納課

問 税制収納課☎㉚9111

■ファミリーパークゴルフ・パークゴルフ大会

スポーツ協会事務局☎FAX㉜4480

●ファミリーパークゴルフ大会

とき 10月6日(日)9時受付開始（雨天中止）

対象 市内および近郊の在住・在勤・在学で、小中学生と大人による2人1組でチーム編成がされていること

定員 1チーム2人編成による25チーム（先着順）

申込締切 9月27日(金)まで

●パークゴルフ大会

とき 10月20日(日)9時受付開始（雨天時予備日10月27日(日)）

対象 市内および近郊居住者で18歳以上の人

定員 100人（先着順）

申込締切 10月11日(金)

●共通事項

参加費 千円

ところ 廿日市市パークゴルフ場

申込方法 パークゴルフ場とスポーツ協会事務局にある申込用紙に必要事項を記入し、スポーツ協会事務局へ直接、郵送、またはファクスで

※参加費には、プレー料金、保険料、飲料代・賞品代などを含む

募集

■自衛官募集

自衛隊 広島地方協力本部 広島地域事務所☎082（261）1070

募集種目		資格	受付期間	試験期日	入（校）隊
防衛大学校学生	一般	高卒（見込みを含む）21歳未満の人（自衛官は23歳未満）	9月5日(木)～30日(月)	1次 11月9日(土)、10日(日) 2次 12月10日(火)～14日(土)	平成26年4月上旬
防衛医科大学校学生		高卒（見込みを含む）21歳未満の人		1次 11月2日(土)、3日(日) 2次 12月18日(水)～20日(金)	
看護学生				1次 10月19日(土) 2次 11月30日(土)、12月1日(日)	平成26年3月下旬～4月上旬
陸上自衛官（看護）		看護師免許を有し、保健師・助産師免許を有する人（見込みを含む）36歳未満の人	9月2日(月)～30日(月)	11月16日(土)	平成26年4月上旬

※志願手続や募集要項など詳細は、問い合わせてください

一般

■高齢者・障害者の人権あんしん相談

広島法務局☎082（228）5792

9月9日(月)～15日(日)までの7日間は、全国一斉「高齢者・障がい者の人権あんしん相談」強化週間として、相談時間を延長し、土・日も電話相談に応じます。

電話相談開設時間

9月9日(月)～13日(金)8時30分～19時▼9月14日(土)・15日(日)10時～17時

電話番号（全国共通人権相談ダイヤル）☎0570（003）110

なお、広島法務局と広島県人権擁護委員連合会では、人権相談所を常時開設しています。

人権相談所（常設）

開設時間 月～金曜日 8時30分～17時15分

※火・金曜日の9時～16時までは、人権擁護委員による相談

開設場所 広島法務局廿日市支局

電話番号 ☎㉛2164

■全国一斉緊急情報伝達訓練

危機管理課☎㉚9102

地震・津波などの災害時や武力攻撃時に、全国瞬時警報システム（J―ALERT）で国から送られてくる緊急情報を確実に市民の皆さんに伝えるため、伝達手段の訓練を実施します。

市では防災行政無線による試験放送と登録制メール配信サービス「はつかいちし安全・安心メール配信サービス」による試験メールの配信を行います。

実施にあたり、いずれも「試験」であることが分かるよう放送・配信します。

とき 9月11日(水) 11時、11時30分（2回実施）

※全国瞬時警報システム（J―ALERT）とは、国が発信する緊急情報を衛星を利用して瞬時に各自治体に伝達するシステムです

■救急車の適正な利用を

消防本部警防課☎㉚9233

平成24年中、市民の約23人に1人が救急車を利用した状況となっています。そのうち約4割は軽症者で、そのほとんどが緊急性のない事案でした。

緊急性のない救急出動が多くなれば、救急車を本当に必要とする人のところへの到着が遅れてしまい、救える命が救えなくなる恐れがあります。

救急車や救急医療は限りある資源です。いざというときのあなた自身のために、救急車の適正な利用をお願いします。

●緊急性がなく、自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関などを利用してください。

●救急車以外に搬送手段がなく、緊急に医療機関へ搬送しなければならない場合は、迷わず救急車を要請して下さい。

■ **水道料金納期** 納付書での支払いは、**9月30日**(月) までです 問 水道局お客様センター☎㉜2286

■近隣市町の情報をお知らせ【広島市】

広島オクトーバーフェスト2013

とき 9月6日(金)～16日(祝)

ところ 旧広島市民球場跡地

内容 ドイツ発祥のビール祭典「オクトーバーフェスト」を広島市で開催します。会場では、ドイツビールと一緒に、さまざまなステージショーを楽しむことが出来ます。

問 広島オクトーバーフェスト実行委員会☎082（249）1218

■景観ワークショップ参加者募集

都市計画課☎㉚9190FAX㉛0999

「はつかいち景観100選」の実施に向けた仕組みを考えるワークショップを開催します。

廿日市・大野地域で、あなたの知っている優れた景観を、「はつかいち景観100選」の候補として抽出したり、募集や審査の方法などをまとめたり、実施に向けた仕組みを一緒に考えてみませんか。

とき 10月から平成26年1月にかけて4回を予定

対象 市内に在住・在勤・在学、または市内でまちづくり活動を行っている18歳以上の人

募集人数 24人程度

申込方法 市役所6階都市計画課、各支所、各市民センター、市ホームページにある申込用紙に必要事項を記入し、都市計画課までファクスなどで

※詳しくはお問い合わせください

問 財政課☎㉚9125

平成24年度の寄附金の状況は次のとおりです。合計で2,896,886円の寄附金がありました。

世界文化遺産の島「宮島」の自然や文化財の保護に関する事業 4件 92,886円、福祉に関する事業 4件 2,200,000円 その他の事業 4件 604,000円

■廿日市地域の一部で住居表示実施

市民課☎㉚9135

10月28日(月)から廿日市地域の一部で住居表示が実施されます。（別図参照）

新しい住所の町名は「城内二丁目、城内三丁目」です。住居表示が実施される地域では、9月下旬から委託業者が各家庭を訪問し、住居表示決定通知書、町名表示板、住居番号表示板や住居表示案内パンフレットを配布・取り付けを行いますのでご協力ください。

住居表示に関する手続きなど詳しくは、各家庭に配布されるパンフレットをご覧ください。

■住宅・土地統計調査

広報統計課☎㉚9122

住宅・土地統計調査は、5年ごとに行われる全国約350万世帯を対象とした大規模な調査です。

住まいの状況などを調査し、今後の住生活に関する大切な基礎資料となるものです。

調査の対象となる世帯には、9月下旬から調査員が伺いますので、回答にご協力をお願いします。

なお、調査内容は統計作成の目的以外に使用することはありません。また、インターネットによる回答もできますので、利用してください。

調査日 10月1日

調査期間 9月23日～10月24日

市内対象世帯 約2700世帯（約18世帯に1件）

対象調査区は調査区一覧の地区の一部です。

■住宅・土地統計調査対象調査区一覧

廿日市一丁目、住吉一・二丁目、駅前、須賀、本町
桜尾二・三丁目
串戸二・四・五・六丁目
地御前一～五丁目、地御前北一～三丁目
阿品台一・二・四・五丁目、阿品台北、阿品台西、阿品台東
阿品二～四丁目
宮内、宮内一丁目、峰高一・二丁目、六本松一・二丁目
平良一・二丁目、平良山手、下平良一丁目、新宮一・二丁目
佐方、佐方一～四丁目、大東、山陽園、城内一丁目
四季が丘二・四・五・六・八・十一丁目
宮園上二・四・五丁目、宮園二・四・六・七・八・九丁目
上平良、原、陽光台一・三・五丁目
津田（津田、小原上、小原下、道秀原、上市北、小更、槇ヶ峠西、上ヶ原西）
浅原（向井原北、向井原南、戸屋原北）
栗栖中、栗栖下
玖島（一丁田東の下、楢原東、泉水、一丁田西、中村北）
永原（永原、上の西、中の西、大久保北）
峠、友田（岩組西の西、昭和東）
河津原（河津原中組の上）
吉和（駄荷、石原、寺垣内、熊崎、西伴蔵）
塩屋一丁目、沖塩屋一～三丁目
大野（郷、茂津、鯛ノ原、滝の下、中津岡、中山、早時、水ノ越）
福面一・三丁目、対厳山一丁目
宮島口西一・二丁目、深江一・二丁目
宮島口東一～三丁目
宮島口一・二丁目、宮島口上一丁目
前空一・三・四・六丁目
物見西二・三丁目、物見東一丁目
林が原一丁目、丸石二・三丁目
八坂二丁目、宮浜温泉一丁目
大野中央二～五丁目、上の浜一丁目、梅原二丁目、大野原一丁目
宮島町（胡町、新町、北之町浜、幸町、西表）

■「さくらポイント」終了

廿日市さくらポイント会☎㉜3940

廿日市地域の店舗で使用できるポイントカード「さくらちゃんカード」が9月30日(月)で終了します。

10月1日(火)以降は全てのカードが無効となりますので、満点のカードをお持ちの場合は、9月30日(月)までに、加盟店で使用してください。

■近隣市町の情報をお知らせ【熊野町】

筆まつり

とき 9月23日(祝)

ところ 榊山神社一帯

内容 筆供養や、巨大な筆で書き上げる大作席書（たいさくせきしょ）をはじめ、各種の筆が特別価格で購入できる筆の市、参道両脇につるされる一万本の筆通りなど、筆にまつわる催しが行われます。

問 筆まつり実行委員会☎082（854）0216

ごみインフォメーション

廃棄物処理やごみ分別などに関するお知らせをシリーズでお伝えしていきます。

問合せ 廃棄物対策課 ☎㉚9133

No.3

今回は「第2次廿日市市一般廃棄物処理基本計画」の施策の3つの柱の一つである「再資源化の推進」についてお話しします。

正しいごみ分別の促進

市では、分別についての正しい知識や、何が資源として再利用できるかを知ってもらうために、ごみの正しい分け方の早見表などを作成し、市民の皆さんに配布しています。また、正しいごみの分別を推進するため、ごみ出しルールが守られていないごみが出された場合は、警告シールを貼り、ダスターステーションに残置することによる啓発を継続しています。ごみの正しい分け方の早見表などは、市のホームページにも掲載していますのでご覧ください。

リサイクルの推進

昨年度、燃やせるごみの組成調査を行った結果、家庭系の燃やせるごみには2割、事業系の燃やせるごみには3割の資源化が可能なものが含まれていることが分かりました。そこで、ごみ処理施設の搬入窓口での指導や、定期的な排出実態調査による事業者指導を行います。また、商店や事業所などの事業活動から発生する事業系ごみも、資源回収の協力を促し、リサイクルを推進します。

分別方法の一部変更

再資源化を推進するため、次の表のとおり、菓子の箱などの雑紙を燃やせるごみではなく、資源ごみ（紙類・雑誌）として分別します。新たな分別方法へのご協力をお願いします。

燃やせるごみから、資源ごみへ（紙類・雑誌）に変更するごみの例
●菓子の箱・空き箱
●紙ファイル
●紙袋
●カレンダー
●米袋（紙製）
●封筒
●包装紙

※全て紙製のものに限ります。金属、プラスチック、ビニールなどの異物を取り除き、たたんで雑誌類としてひもで束ねて出してください

次回は、「適正処理の推進」のお話です。

■がん検診無料クーポン券

対象者には、がん検診無料クーポン券を送付しています。申し込んでいない人は、早めに医療機関か健診専用電話☎㉛2026へ予約してください。期間は11月30日(土)までです。まだ

医療機関追加 乳がん検診（クーポン券対象者のみ）
ひろしま駅前乳腺クリニック（福屋広島駅前店8階）☎082（568）3003

■看護職のための再チャレンジセミナー

～「もう一度働きたい」を応援～

出産や子育てなどで看護の現場を離れた人を対象とした職場復帰のためのセミナーです。

と　き　9月20日㈮　13時15分～15時30分
ところ　あいプラザ2階　健康指導室
対象者　離職中の看護職有資格者（保健師、助産師、看護師、准看護師）
内　容　最近の医療・看護の現状、就業相談、復職支援研修の案内など
申込方法　広島県ナースセンター☎082（293）9786まで電話で
申込期限　9月13日㈮
※参加費無料、子ども同伴可。公共交通機関を利用してください

■健康づくり交流会　参加者募集

市民の健康づくりを応援しているヘルスメイトボランティアが、「健康づくり交流会」を開催します。昼食は、バランスのとれた弁当を用意しています。

と　き　10月28日㈪　10時～13時
ところ　あいプラザ　多目的ホール
内　容
▶**講話と実技**　「ノルディックウオーキングを楽しもう!」　**講師**　健康運動指導士　小松亮介（こまつ りょうすけ）さん
▶バランスのとれた弁当の試食
対　象　市内在住の55歳からおおむね70歳の人
参加費　420円（弁当代・保険料）
持ってくるもの　飲み物・タオル
定　員　30人（先着順）
申込方法　9月2日㈪から電話で
※運動しやすい服装と靴で（弁当持ち帰り不可）
申込み・問合せ　廿日市市保健センター ☎⑳1610

■特定健診・がん検診・人間ドック申込受付中

と　き	ところ	受付時間	備　考
9月1日㈰	あいプラザ	8：30～10：00（受付時間は指定します）	特定健診 C型B型肝炎 胃がん 肺がん 大腸がん 子宮頸がん 乳がん ※9月20日㈮の宮島福祉センターには、子宮頸がん検診はありません
9月2日㈪	柿の浦集会所		
9月17日㈫	あいプラザ		
9月18日㈬			
9月19日㈭			
9月20日㈮	宮島福祉センター		
10月6日㈰	津田市民センター		
10月7日㈪	あいプラザ		
10月8日㈫			
10月9日㈬			
10月10日㈭			
10月11日㈮			

※先着順。9月18日㈬は託児があります（要予約）。詳しくは予約時に問い合わせてください
申込み・問合せ　健診専用電話☎㉛2026

■ハツラツ！元気クラブ

無理なく効果的な運動を実践したり、介護予防のための知識を学んだりする教室です。自宅でも継続して運動が行えるような個別プログラムです。

対　象　市内在住で65歳以上の人
期　間　10月～12月までの3カ月間
1グループ　毎週火曜日10時～12時
2グループ　毎週水曜日13時30分～15時30分
ところ　あいプラザ2階　健康増進室
内　容　健康ミニ講座・専門トレーナーによる機械などを使った運動機能向上トレーニング、家でもできるストレッチ
定　員　各グループ15人（先着順）
参加費　無料
申込み　廿日市市保健センター

■ヘルスチェック

と　き	ところ	実施時間	備　考
20日㈮	あいプラザ	9：30～11：00	①血圧測定、体重・体脂肪測定、尿検査、健康に関する相談（被爆者健康相談も実施、健診結果を持参）

■ハートビクス

名　称	と　き	ところ	備　考
おおのハートビクス	24日㈫ 13：00～15：30	大野福祉保健センター	①運動教室と栄養・運動の個別アドバイス ②バスタオル、飲み物、運動できる靴、体操用マット（ある人） ※循環器系疾患など既往歴のある人は医師に相談の上参加してください
さいきハートビクス	26日㈭ 13：30～15：30	友和市民センター	

※おおのハートビクスは、今年度第1回目のため、13時～15時30分です
※さいきハートビクスに初めて参加される人はアンケート調査があります。13時に集合してください
対　象　市内在住の40歳以上おおむね70歳未満
参加費　無料
申込み　大野福祉保健センター会場希望者は大野福祉保健センター☎㊹2660、友和市民センター会場希望者は佐伯支所福祉グループ☎⑫1114

■ハツラツ！はつかいち交流ウオーキング

と　き	ところ	集合時間	備　考
9日㈪	中央市民センター	9：30（受付9：15～）	**コース**　廿日市地区周辺（6㎞） **参加費**　無料　**申込み**　中央市民センター（☎⑳1266）
13日㈮	大野7区集会所	9：00	**参加費**　50円 **申込み**　不要
20日㈮	広電宮島口駅前	9：00	**コース**　宮島口西コース（4㎞） **参加費**　100円　**申込み**　串戸市民センター（☎㉜2096）
28日㈯	平良市民センター	9：00	**コース**　宮島SAコース（5㎞） **参加費**　50円　高校生以下無料 **定員**　100人　**申込み**　平良市民センター（☎㉛1251）

■育児相談（乳幼児と保護者）

と　き	ところ	受付時間	備　考
3日㈫	あいプラザ	9：30～10：30	①身長・体重測定、個別相談（保健師・栄養士による） ②母子健康手帳 ※13日㈮　宮島台集会所は、栄養士はいません
30日㈪			
13日㈮	宮島台集会所（育児サークル会場）	10：00～11：30	
19日㈭	大野福祉保健センター	9：30～11：00	
20日㈮	津田市民センター	9：30～10：30	

■育児教室（乳幼児と保護者）

と　き	ところ	実施時間	備　考
11日㈬	吉和保育園	10：00～12：30	①人形劇
13日㈮	津田児童館	10：30～12：00	①離乳食講座
20日㈮	津田市民センター	10：00～11：30	①簡単なおもちゃ作り
24日㈫	吉和福祉センター	10：00～11：30	①救急教室（AED）

■パパママスクール（妊婦とその家族）

9月のマタニティースクールの日程などは、市のホームページまたは広報8月号をご覧ください

■離乳食講座（離乳食初期の保護者）

と　き	ところ	実施時間	備　考
25日㈬	あいプラザ	10：00～11：30	①実演、②母子健康手帳 ※要申し込み

■体若返り教室ハートビクス（宮島地域）

と　き	ところ	実施時間	備　考
5日㈭	西連集会所	14：00～15：30	②タオル、飲み物、運動用上靴 **講師**　松本直子（すぎもと なおこ）さん

■介護予防体操（吉和地域）

と　き	ところ	実施時間	備　考
5日㈭	吉和福祉センター	13：30～15：00	①介護予防体操 ②タオル、飲み物、運動用上靴
19日㈭			

4カ月児・1歳6カ月児・3歳6カ月児健診　地域により、対象月齢が前後することがあります。対象者には個別に通知していますが、通知が届いていない人や、日時や場所の変更を希望する人は、保健センターまたは各支所へ問い合わせてください。

問　廿日市市保健センター ☎⑳1610

休日・夜間急患診療

救急案内　市消防本部☎㉜8111（休日の病院の問い合わせに応じます）
救急ファクシミリ119番　FAX119

■廿日市市休日・夜間急患診療所（15歳以上のみ）

☎⑳1011・FAX⑳1614（診療時間内のみ）
（新宮一丁目13番1号・あいプラザに併設）
診療科　内科
診療時間　休日／9時～22時　月～土曜日／19時～22時
※電話での問い合わせは21時45分まで。また、支払う医療費には時間外加算または休日加算が含まれます

■診療所の利用についてのお願い

休日・夜間急患診療所は、救急患者のための診療所です。急患でない場合は、できるだけ通常の診療時間内に、かかりつけ医で受診してください。また、受診の際は健康保険の被保険者証を持参してください。

■広島市立舟入病院　☎082（232）6195

診療科　内科・小児科・耳鼻咽喉科

■広島市立広島市民病院　☎082（221）2291

診療科　内科など（歯科・口腔外科を除く）
※成人（高校生相当年齢以上）の主に内因性疾患の救急医療

■広島口腔保健センター　☎082（241）4861

診療科　歯科

■小児救急医療相談　＃8000または☎082（505）1399

相談受付　毎日／19時～翌8時
相談対応　小児科勤務経験がある看護師が対応（小児科医師が支援）
※診療時間・診療科など、事前に必ず電話で問い合わせてください

9月の休日診療

※在宅当番医（予定）を記載しています。当番医は変更することがありますので、受診の前に必ず問い合わせてください　**診療時間**　9時～18時

22日㈰	杉原外科医院（大野）	☎㊺0534
	わき小児科医院（下平良）	☎㉞0207
23日㈷	たかの耳鼻咽喉科医院（阿品）	☎㊱1133
	ふじかわ心療内科クリニック（下平良）	☎㉞0035
29日㈰	大野キッズファミリークリニック（大野中央）	☎㊺3021
	ひらた耳鼻咽喉科・アレルギー科（天神）	☎㉞3828
1日㈰	小浦眼科（宮島口）	☎㊻0011
	河村小児科（上平良）	☎㊲4153
8日㈰	佐伯中央病院（内科）（津田）	☎⑫1100
	せいこう胃腸科外科医院（佐方）	☎㉜0070
15日㈰	アイビー眼科（宮内）	☎㊲3030
	とうげ外科胃腸科（本町）	☎㉜6220
16日㈷	しげの整形外科スポーツクリニック（阿品）	☎⑳3333
	おおさき小児クリニック（阿品）	☎⑳3131

施設の催し情報

教室名	と　き	参加費	定員
敬老の日 ふくわらいをつくろう	9月15日(日) 10時～12時	800円	15人
すいすい木工教室 「救急箱をつくろう」	9月18日(水) 10時～13時	2,800円	6人
welcome スティックバード	9月22日(日) 10時～12時	800円	15人
すいすい木工教室 「大人の端材教室」	9月25日(水) 10時～13時	1,500円	6人
ハザイ教室	9月28日(土) 10時～12時	300円	15人

教室名	と　き	参加費	定員
すいすい木工教室 「キルトハンガー」	10月2日(水) 10時～13時	2,800円	6人
ハザイ教室	10月5日(土) 10時～12時	300円	15人
けん玉教室 けん玉組み立て教室	10月6日(日) 10時～12時	300円 1,000円	30人 10人
ドラキュラの 救急箱	10月12日(土) 10時～12時	1,200円	10人
おばけストラップ	10月13日(日) 10時～12時	500円	20人

■木材利用センター

☎㉜2393

申し込み、問い合わせは、木材利用センターまで電話で。いずれも開催場所は木材利用センターです。汚れても良い服装で来てください。

教室内容の詳細は、市ホームページをご覧ください。

講座名	と　き	持ってくるもの	受付開始
草木染め	9月10日(火) ②	エプロン、ゴム手袋	9月3日(火)から
古い布から 草履づくり	9月12日(木) ①・②	はさみ、洋裁道具、物差し、鉛筆	9月5日(木)から
和服からリフォーム ～作務衣・ベスト作り～	9月18日(水) ②	ほどいてアイロンをかけた古い和服、洋裁道具、はさみ	9月11日(水)から
サンドブラスト ～花瓶・ランプ作り～	9月26日(木) ①・②	お気に入りの瓶など	9月19日(木)から
古い雨傘を使って 買い物袋作り	10月2日(水) ②	裁縫道具	9月25日(水)から

■リサイクルプラザ

（エコセンターはつかいち）☎㊴0266

と　き　①9時30分～12時
②13時30分～16時

※参加費は各100円（ランプ作りは別途費用が必要）
※定員は各10人。参加申し込みは、各講座の受付開始日から電話で

■BOAT RACE 宮島

9月

宮島競艇施行組合
☎㊺1122

S	M	T	W	T	F	S
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
⑮	⑯	17	18	⑲	⑳	㉑
㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘
㉙	㉚					

：レース開催日　○：場外発売

■図書館

9月のおはなし会

	ところ	と　き	対象
小さい子のためのおはなし会	はつかいち市民図書館	6日(金)・20日(金) 11時～	乳幼児
おはなし会	はつかいち市民図書館	14日(土)・28日(土) 11時～	幼児・小学校低学年
	大野図書館	28日(土) 14時～	
	さいき図書館	14日(土) 10時30分～	
ストーリーテリング	はつかいち市民図書館	21日(土) 11時～	幼児～大人

図書館名	開館時間	9月の休館日
はつかいち市民図書館 ☎⑳0333	月～金 9時～19時 土・日・祝・休日 10時～18時	26日(木)
大野図書館 ☎㊹1120	10時～18時	2日(月)、9日(月)、17日(火)、24日(火)、26日(木)、30日(月)
さいき図書館 ☎㉒1011		

■消費生活

《相談内容》

芸能人のマネジャーという人から「無料ポイントを150円分渡すので、担当のタレントについて悩みを聞いてほしい」というメールが届いた。無料ポイントがあるならとサイトに登録してメールのやり取りを始めたが、無料ポイントはすぐに無くなり、その後のやりとりで使ったポイント代金を払うようにと催促のメールが届くようになった。払わなければならないか。（20歳代　女性）

《アドバイス》

相談者には出会い系サイトのサクラ（業者に雇われて利用客のふりをする人）について説明し、料金を払わずにメールアドレスを変更して様子を見るようアドバイスしました。

いわゆる「サクラサイト」に関連するトラブルが後を絶ちません。迷惑メールや知らない人からのメールに返信してサイトに誘導されたり、スマートフォンのコミュニケーションアプリのメッセージや電話機能でサクラサイトに誘導されたりするケースもあります。

芸能人のマネジャーを名乗り「悩みを聞いてほしい」など、同情心に訴えてメール交換を続けさせ、利用ポイントを使わせる手口や、「お金をあげる」などのメールもあります。

知らない人から届いたメールには返信しないことです。やり取りをした場合には、メールの保存やプリントアウトしておきましょう。また、お金を払うと取り戻すのは大変困難です。もし、支払った場合は、支払いの記録を保存しておいてください。支払い方法によっては返金交渉の役に立つ事もあります。

（広島県環境県民局消費生活課発行「くらしのフレッシュ便」平成25年7月号より）

消費生活相談
☎㉛1841

と　き
月～金曜日
（祝・休日を除く）
9時～12時、
13時～16時

ところ
廿日市市
消費生活センター
（市役所6階
商工労政課内）

■エアコンによる火災が多発！

次のような異常がある場合は使用をやめ、販売店やメーカーに相談しましょう。

電源コードやプラグが異常に熱い、または傷や破れ、変色している▼ブレーカーが頻繁に落ちる▼室内機から水漏れする

※室外機に、ほこりやナメクジなどが入り、通電・発火することもあります。室外機の周りに植木鉢などを置かないようにしましょう

問 消防本部予防課 ☎㉚9232

暮らしの相談

※㋮は事前に予約が必要です。㊟は電話による相談も可能です

相　談	開　催　日	開催時間	相談会場	問合せ・予約先
市民相談㊟ 市政に関する要望や生活上の困りごとなど	月・火・金曜日 （祝・休日を除く）	9時30分～14時30分 （受付14時まで）	市役所2階市民相談室	広報統計課☎㉚9121
行政書士による無料相談 交通事故、相続・遺言、離婚に関する相談	9月5日(木)・13日(金)・27日(金)	10時～16時	市民活動センター2階	広報統計課☎㉚9121
	9月18日(水)	13時～16時	市役所4階402会議室	
無料法律相談㋮ 弁護士による相談	9月10日(火)	13時～16時	大野支所32会議室	広報統計課　☎㉚9121、 ☎⑳0001（内線1492） **受付開始**　9月2日(月)8時30分から電話で
	9月11日(水)・17日(火)・25日(水)		市役所4階402会議室	
行政相談 国や特殊法人に関する意見・要望など	9月18日(水)	13時30分～16時 （受付15時30分まで）	大野支所32会議室	大野支所地域づくりグループ☎㉚2005
	9月26日(木)		市役所4階402会議室	広報統計課☎㉚9121
年金労働相談 社会保険労務士による相談	9月10日(火)	13時～16時	市役所4階402会議室	広報統計課☎㉚9121
税理士無料税務相談㋮ 所得税、相続税、贈与税など	9月4日(水)	13時～16時	市役所2階市民相談室	課税課☎㉚9113
就業支援相談㋮	第2・第4水曜日 （祝・休日を除く）	12時30分～16時30分	市役所2階市民相談室	商工労政課☎㉚9140
心配ごと相談㊟ 日常生活上の悩みごとや対人関係のもつれ、困りごとなどの相談	火・金曜日 （祝・休日を除く）	13時～16時	あいプラザ	廿日市市社会福祉協議会廿日市事務局（あいプラザ内）☎⑳0783・FAX⑳1616 同佐伯事務所（佐伯社会福祉センター内）☎㉒0868・FAX㉒1005 同吉和事務所（吉和福祉センター内）☎㉗2883・FAX㉗2514 同大野事務所（大野福祉保健センター内）☎㊺3294・FAX㊺3275 同宮島事務所（宮島福祉センター内）☎㊹2785・FAX㊹2661 ※各事務所では、ボランティア相談、福祉総合相談も随時行っています
	水曜日 （祝・休日を除く）	13時～16時	佐伯社会福祉センター	
	9月4日(水)・11日(水)・18日(水)	13時～16時	吉和福祉センター （すこやかプラザ）	
	木曜日 （祝・休日を除く）	13時～16時	大野福祉保健センター	
	9月2日(月)・9日(月)・30日(月)	13時～16時	宮島福祉センター	
認知症介護相談㋮	9月10日(火)	13時30分～15時	あいプラザ	
認知症介護相談㊟	9月24日(火)	13時～16時	大野福祉保健センター	
司法書士法律相談㋮	9月11日(水)	13時～16時	あいプラザ	
障がいに関する総合相談㊟	月～金曜日 （祝・休日を除く）	9時～17時	障がい福祉相談センター （あいプラザ内）	障がい福祉相談センター「きらりあ」 ☎⑳0224・FAX⑳0225
教育相談㊟	月～金曜日 （祝・休日を除く）	9時30分～16時30分	廿日市市こども相談室☎㉜8061	
こどもいじめ110番㊟	月～金曜日 （祝・休日を除く）	9時30分～16時30分	☎（0120）080110（通話料無料）	
高齢者の総合相談㊟ 介護予防や生活の中での困りごと、介護保険、虐待など	月～金曜日（祝・休日を除く）　8時30分～17時 地域包括支援センターはつかいち☎㉚9158・FAX㉛1999 地域包括支援センターさいき☎㉒2828・FAX㉒0415　佐伯さつき会よしわせせらぎ園☎㉗2377・FAX㉗2379 地域包括支援センターおおの☎㊿0251・FAX㊺1307　いもせ聚楽会宮島ふれあい☎㊹0250・FAX㊹0881			
家庭児童相談㊟ 要保護児童・虐待など	月～金曜日 （祝・休日を除く）	8時30分～17時15分	市役所1階児童課	児童課☎㉚9153 児童相談所全国共通ダイヤル ☎0570（064）000
子育てに関する相談㊟	月～金曜日 （祝・休日を除く）	8時30分～17時15分	廿日市市 子育て支援センター （あいプラザ内）	廿日市市子育て支援センター ☎⑳1612・FAX⑳1613
	土・日曜日、祝・休日	10時～12時、13時～17時		
	月～金曜日 （祝・休日を除く）	9時～15時	大野子育て支援センター （深江保育園内）	大野子育て支援センター ☎FAX㊺0356
電話育児相談㊟ 市内各保育園で実施	月～金曜日（祝・休日を除く）13時～17時			

保育園	電　話	ファクス	保育園	電　話	ファクス	保育園	電　話	ファクス	保育園	電　話	ファクス
佐方	㉜0858	㉜5603	宮園	㊳6126	㊳3205	友和	㊹0834	㊹0672	池田	㊺2026	㊺2018
廿日市	㉛0112	㉛1638	串戸	㉜0970	㉜5706	津田	㉒0952	㉒0939	いもせ	㊺2051	㊺2009
平良	㉛1165	㉜7521	地御前	㊱0273	㊱3262	浅原	㉒0205	㉒0086	梅原	㊹1559	㊹1558
原	㊳6135	㊳1616	阿品台東	㊴0618	㊴6111	吉和	㉗2470	㉗2460	丸石	㊺2073	㊺2010
宮内	㊴0671	㊴1636	阿品台西	㊴0351	㊴4031	深江	㊺0328	㊺0356	鳴川	0827㊼5571	0827㊼5898

■事業系大型ごみ、小型および複雑ごみの受入停止

粗大ごみ処理施設の整備による機械停止にともない、事業系の大型ごみ、小型および複雑ごみの受入れを次の期間停止します。

受入停止期間　9月26日(木)～10月2日(水)
ところ　エコセンターはつかいち

問 廃棄物対策課 ☎㉚9133

廿日市市制施行25周年記念

オリジナルナンバープレートデザイン決定

市制施行25周年を記念して、ふるさとへの愛着心を育み、市の魅力を広くPRするためオリジナルナンバープレートのデザインを募集した結果、全国から141作品の応募がありました。多数の応募ありがとうございました。

選考の結果、採用作品1点、優秀作品2点を決定しました。

採用作品　垂水秀行さん（香川県丸亀市）

優秀作品　清家かおりさん（廿日市市）　居関孝男さん（京都府京都市）

問合せ　課税課☎㉚9113

デザインの説明

厳島神社の大鳥居と穏やかな瀬戸の輝きを表現。上部には神社の垂木をイメージした模様を添えています。

視認性に配慮しながら鳥居を大きく描き、遠くからでも大鳥居を明瞭に認識できるように仕上げました。

※画像は排気量50cc以下のものです。90cc以下は白地の部分が黄色、125cc以下は白地の部分がピンクとなります

採用作品をデザイン

垂水　秀行さん　香川県丸亀市在住　職業・デザイナー

このたびは、デザインを採用していただきましてありがとうございました。廿日市市の皆さんと同じく瀬戸内の恵みを受ける県民として、いつまでも美しく輝く瀬戸内海を守りたいという想いを込めながら、デザインさせていただきました。

世界遺産の厳島神社の大鳥居を大きく描いたこのナンバープレートが、廿日市市の皆さんの安全運転をいつも見守ってくれるように願っております。

ナンバープレートの交付

1 ナンバープレートは、来年1月初旬から交付する予定です。交付時期は広報紙、ホームページなどを通じてお知らせします。

2 新たなナンバープレートの交付は先着順とし、希望ナンバープレートの受付はしません。

3 現在付いている市内のナンバープレートを返却して、オリジナルナンバープレートの交付を受けることができます。

4 新規にナンバープレートの交付を受ける場合は、オリジナルナンバープレートと、既存のナンバープレートのどちらかを選択することができます。

その他

デザイン、文字、数字はナンバープレートに加工する段階で、若干変更となる場合があります。

編集後記

9月15日は、「老人の日」。15日から1週間が「老人週間」、そして第3月曜日の16日が「敬老の日」です。

これらの始まりは、昭和22年、当時の兵庫県多可郡野間谷村（現多可町）で、提唱された「としよりの日」とされています。「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」という趣旨のもと、農閑期に当たる9月15日に行われていたそうです。そしてその後、日本全国へと広がり、現在に至っています。

「記録的」、「過去最高」という言葉が飛び交った8月、日本列島は全国規模で猛暑に襲われました。

8月12日には、高知県四万十市で41・0℃を記録し、6年ぶりに日本最高気温を更新。市内でも8月11日に津田観測所で36・7℃と、8月の最高気温を記録しています。

さて、そんな暑かった8月も過ぎ、暦の上ではもう秋ですね。気温の変化で体調を崩さないように気を付けましょう。

川辺邦彦

目の不自由な人のために

■音声読み上げのための「広報はつかいち」テキスト版をホームページに掲載しています。

■「広報はつかいち」のカセットテープ、デイジー図書、点訳本があります。廿日市市社会福祉協議会☎㉚0294

発行／廿日市市　〒738－8501　広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
☎0829㉚0001(代)・FAX0829㉚1059
編集／分権政策部　広報統計課　広報統計係
ホームページアドレス　http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/
フェイスブックアドレス　http://www.facebook.com/hatsukaichicity

■ **人口と世帯数**　8月1日現在　（　）は前月比　　人口：117,681人（－61人）　　世帯数：49,452世帯（－33世帯）